

令和 7 年度災害拠点病院本部運営訓練の実施について

1 要旨・目的

大規模災害時において、災害拠点病院等の医療救護活動が円滑かつ効率的に行われるよう、必要な技術・知識の習得や災害拠点病院、DMA T（災害派遣医療チーム）、関係機関の連携体制の強化を図ることを目的に、福山市内で訓練を実施する。

2 現状・背景

平成 30 年 7 月豪雨災害や令和 6 年能登半島地震等の大規模災害時の医療体制においては、関係機関との情報共有不足やライフラインの被災に伴う医療提供体制の低下等、様々な課題が生じている。これらの課題を踏まえ、本訓練において、関係機関と合同で災害時の対応の確認及び検証を行う。

3 概要

(1) 実施主体

広島県

(2) 実施日

令和 7 年 10 月 25 日（土）

(3) 訓練想定

福山市内での地震により、多数の傷病者が発生（長者ヶ原断層－芳井断層の地震を想定）

(4) 主な訓練内容

訓 練 項 目		場 所
災害拠点病院の対応訓練（本部運営や傷病者受入れ）		日本鋼管福山病院（災害拠点病院）
DMA T活動の訓練（DMA T活動拠点本部運営）		福山市民病院（災害拠点病院）
病院へのライフライン支援訓練	水	福山市民病院（災害拠点病院）
	燃料	脳神経センター大田記念病院

(5) 参加機関

日本鋼管福山病院、福山市民病院、脳神経センター大田記念病院、県内災害拠点病院（DMA T隊員）、広島県石油商業組合、福山市、広島県 等

<過去の訓練の様子>



本部運営



応急給水



応急給油